

2-イ-② 交流・定住人口の拡大・関係人口創出

現状と課題



都市機能が中心部に集約された「暮らしの利便性」や、安心して子どもを産み育てられる「充実した子育て環境」、そして、一人ひとりの児童・生徒に配慮する「きめ細やかな教育環境」など、まちの魅力を発信することで本町への関心を高め、関係人口の創出・拡大を推進するとともに、本町の地理的特性や各種施策の強みを活かした移住・定住の促進に取り組みます。

施策の概要

本町の移住施策は、空き家バンクとリンクさせており、物件の有無によって移住検討者の期待に沿えないことも考えられることから、空き家バンクへの登録促進につながる活動を推進します。また、移住後の生活支援の一環として移住者が交流できる環境を整備し、移住者間の横のつながりを深めることによる定住促進を目指します。とともに、若者に対する奨学金返還支援等により本町へのUターンを促し、「若者が帰ってくるふるさと」づくりを推進します。

主に実施する事業

移住・定住の推進	人口減少の抑制と地域の活性化を目的として、空き家の利活用による移住・定住を促進します。また、移住・定住者への求職情報の提供を行い、働き方の相談と紹介を行います。
空き家バンク運営	空き家の情報収集及び情報発信を行い、町外からの人や企業による有効活用を通して本町への移住・交流を促進するため、三木町空き家バンク制度に取り組みます。
関係・交流人口の創出・拡大	イベント開催や会報紙の作成など、関係人口の積極的な関わりを推進するとともに、まちの魅力に継続的に関心をもってもらうことで、ファンという存在から地域課題に向き合うサポーターまで関係性を構築し、まちの活性化につなげます。
奨学金返還支援	<u>地域の産業等の担い手になる若者に対して、奨学金の返還支援等を行うことでUターンや地元企業への就職を促し、「若者が帰ってくるふるさと」づくりを推進します。</u>

重要業績評価指標 KPI

指標名	指標の説明	現状値	目標値 (令和7年度)
ふるさと住民票登録者数	ふるさと住民票の登録者数	750人	▶ 1,000人